

団 体 名：特定非営利活動法人 ゆうゆうグリーン俵山

所 在 地：長門市俵山 4497 番地 里山ステーション俵山内

活動テーマ：愛着をもって住み続けたいと思える地域づくりを

(活動紹介)

1 活動の目的

過疎高齢化や観光客の減少で活力が低下する中、コミュニティを強化することで、住んでいる地域に誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思えるまちづくりを実践する。それを発信することで都市農村交流を活性化することを目的としている。

2 これまでの活動内容等

グリーンツーリズムを活用した都市農村交流をベースとして、福祉、環境、産業など様々な分野で行政と協働しながら活動を展開している。地域の課題を洗い出し、住民目線での対応策と、経済効果につながる事業を模索している。

◆ **高齢者福祉事業**

高齢者の孤立を防ぐため週 2 回のデイサービス。見守りもかねて平日の配食サービス。交通弱者に対応するため週 3 回デマンド交通を実施している。さらに、地区社協が実施する黄色い旗運動にも積極的に協力している。

◆ **イベントの開催による地域活性化**

地域の方に喜んでもらう手作りほたるまつりの開催に加え、平成 26 年度から、地区外からのお客様を呼び込もうと、チンドングランプリ、イチニチレストランといった新しいイベントも開催。この日だけは温泉街も昔の賑わいを取り戻した。

◆ **グリーンツーリズムによる都市農村交流**

子ども農山漁村交流プロジェクトによる小中学校の体験型教育旅行の受入れや、都会の大学生に農村生活を体験させるインターン事業などを実施。指定管理を行う里山 ST では、そば打ちやピザづくりが団体の重要な収入源となっている。

◆ **観光地の環境美化活動**

しゃくなげ園の草刈り活動や、園を活用した花がら摘みイベント、県と連携した県道の草刈り事業を実施している。さらに、休耕田を活用した野菜やそばの栽培、ラグビー世界大会の招致を目指す俵山スパスタジアムの指定管理など行っている。

3 活動の展望

俵山温泉はアンチエイジングに効果があることが報道され、長門市も成長戦略の一環として俵山地区の活性化を掲げる。山陰道の工事も本格化しており、これらを追い風に、住みやすく、訪れたい地域にしていきたい。



デマンド交通の取組



子ども農山漁村交流プロジェクト